

\*\*\*\*\*



# 広報 かんべ

\*\*\*\*\*

発行日 平成31年3月1日 第155号  
編集・発行 神戸地区市民センター  
(神戸公民館・神戸地区住民自治協議会)  
電話・FAX 38-1300  
E-mail kanb-a15@ict.ne.jp  
URL <http://iga-kanbe.jp/>

神戸住民自治

検索

## 神戸地区人権講演会

2月3日(日)に神戸小学校において神戸地区人権講演会(神戸地区人権草の根推進会議主催、神戸地区住民自治協議会、三重県、伊賀市共催)が開催されました。今年は親子で活動されている人権バンドRAMO(ラモ)を講師に招き、「ラモコンサート～知ろうとするより感じてほしい」との演題でステージをお願いしました。RAMOは垣内大徳(だいとく)さんと長男の楽守(らも)さんの音楽ユニットで、楽守さんは自閉症と診断されています。



大徳さんは歌の間に今までの息子さんたちとの生活を通して感じた色々なお話をされました。特に印象に残ったこととして、自閉症の子どもを持ち育て生活をされている方々に自分たちのステージを見ていただくことで、勇気や生きていくための新たな視点を発見してもらいたいとの思いで日本の各地でステージ活動を続けていることと2016年に発生した神奈川県「やまゆり園」事件の犯人の「障がい者は生きていても仕方がない」との発言に対して、生まれてきた命を懸命に守っていこうとしている多くの人々の存在や命そのものの尊厳の否定する発言で、障がい者やその家族にとっては許せない言葉であると言われたことです。



また、ステージを通して日本国内外の多くの方と交流されている大徳さんは、我が国の障がい者と健常者という区別を明白にする考え方は誰もが年齢やケガ、病気等で不便・不自由な生活を余儀なくされることを考えると現実的でなく、不便・不自由を乗り越えようと日々努力している者にとっては障がい者ということで社会的な区別をされることは差別につながるのではないかと話されました。

RAMOのステージはリハーサルがありませんと大徳さんが言われたように、素晴らしい親子の愛情あふれる関係の中、楽守さんの自らを生き生きと表現するステージはサブテーマ「知ろうとするより感じてほしい」通り、参加された方々の感性に響く講演会になったのではないのでしょうか。

### 人権パネル展



## 人権講演会に参加された方の感想（抜粋）

・自分のことを好きで、ありのままの自分であること、それをお互いに認められて生きていける社会を作っていきたいと思いました。「がんばらなくていい」という言葉が印象に残りました。幸せを分けてもらった気がします。

40歳代女性

・昔、「気にしていなければ、言う必要がない」と言われたことがある。まだまだ自分の中にもとらわれているものがあるのかなあと思った。今日の講演もそんなことを思った。人格や権利を言わなくてもいい自分になればいいなあと思います。ラモ君からそれを教わりました。

ありがとうございました。40歳代女性

・子供に対する親の深い愛情を終始感じました。みんなが助け合い障害者という言葉自体が無くなり、安心して暮らせる社会になればと思いました。40歳代女性

・自閉症の子を持つ親の気持ちがよく分かった。70歳代男性

・日々人権を考えながら生きている人(考えないと生きられない立場の人)の言葉を聞いて良かった。感じさせてもらいました。60歳代男性

・お二人の間にホッとする気持ちの流れが見える気がした。誰一人として同じ人はいないこと、お互いを認めること。60歳代女性

・軽快な語りとギターに乗せた音楽はとてもマッチしていてとても聞きやすく、人権感覚について、自分の意識の振り返りを行うことが出来ました。本日はどうもありがとうございました。大変意義のある研修の機会になりました。50歳代男性

・親子の愛情が感じられました。ラモ君は幸せです。親が子を虐待する世の中、今日は感動でした。その子の幸せを第一に考える。世間を気にせず寄り添うことだと思いました。心を感じました。70歳代女性



## 学校支援地域本部事業の活動



今年も「図書館の蔵書整備」と「学校周辺の環境整備」をお願いしています。図書館では昨年に引き続き月に1回程度5~6人で壊れた本の修理をおこなっていただいています。また、周辺の環境整備では、10人程度で秋にブランコ周辺の溝掘りとメダカ池の網の取り換え作業をおこない、2月20日の作業ではメダカ池の網の取り換え作業の続きと学校西側の坂の周辺の整備をおこなっていただきました。



普段手が届かない部分の作業ですので大変な部分もあったのですが一生懸命汗を流して頑張ってくださいました。まことに有難うございました。



# 神戸地区地域運行バス「かんべ北斗号」情報

4月2日  
から

「かんべ北斗号」がさらに便利に！

～4月2日から「**フリー乗降制**」がスタートします～

「かんべ北斗号」が、昨年7月3日から試験運行を開始して早や8か月になります。

これまで、多くの方々にご利用をいただき順調に運行していますが、皆様方から「荷物を持ってバス停留所から自宅まで歩くのが大変だから、自宅近くにバスが走っていれば、降ろしてほしい」との多くの声を沢山いただきました。そうしたことから、利用者の方々の利便性を図るため「神戸地区地域運行バス運営協議会」や関係機関との協議を重ねてきましたが、4月2日(火)から停留所以外でも乗降できる新制度「フリー乗降制」を導入することになりました。

「フリー乗降制」の概要は、下記のとおりです。フリー乗降制を利用される方は、安全にバスの運行や乗降ができるようご協力をお願いします。



## 【フリー乗降制度とは】

指定された区間に限り、バス停留所以外の場所でもバスの乗り降りが自由にできる制度です。

## 【フリー乗降区間】

フリー乗降区間は、国道422号線を除く神戸地区内の運行区間です。

※伊賀市広報3月15日号と同時配布の時刻表等のチラシを参照してください。

## 【フリー乗降制度を利用される方へのお願い】

### ◇停留所以外で乗るとき

- ・バス進行方向の左側の道路の広い安全な場所で、バスに向かって手をあげて合図してお知らせください。(反対車線側で手をあげた場合は、停車しません。)
- ・最寄りの停留所の発車時刻表を参考に、余裕を持ってお待ちください。

### ◇停留所以外で降りるとき

- ・早めに降りる場所をバスの運転手に口頭でお知らせください。
- ・車内転倒防止のため、降車の際はバスが完全に停車するまで席を立たないようにしてください。
- ・交通の支障になる場所では、停車位置を変更させていただく場合があります。

### ◇その他

- ・停留所が近くにある方や停留所まで移動が可能な方は、停留所で乗降くださるようお願いいたします。
- ・道路交通法等で駐停車が禁止されている場所や停車すると危険な狭い道路及び交差点付近、橋梁の上などでは乗降できません。
- ・運転手が危険と判断した場合は、乗降できない場合があります。

## 【お問合せ】

神戸地区市民センター 電話 38-1300 (株)キタモリ乗合事業部 電話 38-1524(代)



# かんべ元気っ子広場活動状況

平成24年10月から始まった「かんべ元気っ子広場」ですが、神戸の子どもたちの健やかな成長や子育ての悩み解消に少しでも役に立てばとの思いで、保育士経験者の方を中心に地域の方々に支えられて活動しています。

少子化の影響で神戸の子どもは減少傾向ですが、口コミ等で神戸にゆかりのある子たちも参加して活動を続けています。

2月の広場は神戸保育所園児との交流会の予定でしたが、インフルエンザの流行を配慮し参加者での交流とお誕生会をおこないました。



## 3月の主な予定



日時	内容	場所
3月 4日(月) 10:00～	かんべ元気っ子ひろば	神戸地区市民センター
3月 7日(木) 9:20～	上野南中学校卒業式	上野南中学校
3月13日(水) 13:30～	神戸公民館サークル清掃及び連絡会議	神戸地区市民センター
3月14日(木) 13:00～	神戸公民館自主事業「絵手紙教室」	神戸地区市民センター
3月14日(木) 19:30～	神戸公民館自主事業「ヨガ教室」	神戸地区市民センター
3月15日(金) 13:30～	住民自治協議会役員会	神戸地区市民センター
3月19日(火) 9:30～	神戸小学校卒業式	神戸小学校
3月19日(火) 13:30～	いきいきサロン代表者会	神戸地区市民センター
3月22日(金) 19:30～	住民自治協議会運営委員会	神戸地区市民センター
3月26日(火) 10:00～	神戸保育所修了式	神戸保育所
3月26日(火) 13:00～	神戸公民館自主事業「ヨガ教室」	神戸地区市民センター
3月28日(木) 19:30～	神戸公民館自主事業「ヨガ教室」	神戸地区市民センター

## かんべいきいき市(農産物直売所)

### 3月2日(土)です!!



- ★午前 9時00分～10時00分
- ★午前 10時15分～10時45分
- ★午前 11時00分～11時30分

JA 神戸ふれあい店前  
朝日ヶ丘町公民館前  
きじが台地区市民センター前



